祝辞（大栄中学校卒業式）

卒業生の皆さん　ご卒業おめでとうございます。

皆さんの３年間の中学校生活はどうだったでしょうか。大きな期待を持って、入学されたと思いますが、新型コロナウイルスに翻弄された 3 年間だったと思います。日常生活だけでなく学校生活も、イベントの縮小や中止など思い通りにならなかったりで、我慢する場面が多かったりと思います。しかしながら、このことで忍耐力やどうしたら楽しく過ごせるかなど考える力もついたと思います。このことは、今後の人生に必ず活きてきます。

また、学校の中だけの学習ばかりでなく、地域のこと、町のことも研究されました。私も参加させていただきましたが、白熱大討論会では「20 年後の北栄町～誰もが住みたい町にするために～」として、真剣に北栄町の未来のことを考えていただきました。とても、頼もしく思えました。北栄町の未来は、明るいと思いました。

さて、本日をもって、皆さんは義務教育を卒業されます。ここから先は、自分自身の「意思」や「判断」がより尊重されるようになります。これまではどちらかと言えば、一本の敷かれたレールを歩いてきたと思いますが、これからは何本もある道を自分自身で選択し、自らの人生を切り拓いて、歩いて行かなくてはなりません。その時に、迷うことがあると思います。そんな時は、まずは自分で考えて、それでもわからないときは、いつまでも自分一人で悩まず、先生や友達、そして何よりご家族に相談してください。相談は、メールなどの文字より、直接の会話で相談してください。良い解決策が得られると思います。

北栄町は、近年、人口の１％が毎年減少しています。このまま減少していくと、これまでできていたこともできなくなります。このため、そうならないよう、町もこの課題に対し、皆さんや将来を担う子どもたちのために、稼げる町へ、持続可能なまちとなるよう、子育て支援や産業の振興など「未来への投資」として、取り組みを進めています。

令和 8 年度には、山陰道が開通します。道の駅北条公園も令和 7 年 4 月にリニューアルオープンの予定です。青山剛昌ふるさと館も新築を計画しています。今より、もっと多くの方が北栄町を訪れるようになります。北栄町は、今いる皆

さんのため、そして将来のため、町民全員で頑張っています。

　将来、町外、県外、あるいは外国に出ていくことがあるかもしれません。ですが、この大栄中学校で学んだこと、北栄町のことを忘れないでください。知識や経験を身に着け、いつかは、この地にもどってきて、北栄町の発展のために力を貸してほしいと思います。

　保護者の皆さまにおかれましては、このように立派に成長されたお子さんの姿を前に感激もひとしおのことと心よりお喜び申し上げます。今後もしっかり向き合って、家族として・人生の良き先輩として、アドバイスをいただきますよう、よろしくお願いします。

　また、校長先生をはじめ、熱心にご指導いただきました先生方のご苦労に対し、敬意と感謝の意を表しますとともに今後もあたたかく見守っていただきたいと思います。

　卒業生の皆さんの健やかな成長と光輝く前途を祝し、また来週には良い知らせが届くことを願い、お祝いのことばとさせていただきます。

令和５年３月10日
北栄町長　手嶋俊樹